

甲斐武田氏の始まりの地

かまなしがわ たけだのぶよし かんじょうじ たけだはちまんぐう
 葦崎市の釜無川の西側は武田信義が拠点を構えた地域であり、願成寺や武田八幡宮など多くの甲斐武田氏ゆかりの文化財が点在している。また、その南には武田氏の有力家臣の甘利氏が拠点を張っていた。



スタート

1 願成寺
 武田信玄の祖先である信義の菩提寺で、境内にお墓と伝わる五輪塔（市指定文化財）がある。また、信義が寺に寄付したとされる木造の仏様（阿彌陀如来及び両脇侍蔵）があり、国の重要文化財に指定されている。



2 武田信義館跡
 武田信義の館跡と伝えられ、市の指定史跡になっている館跡。館跡の東にある武田東畑遺跡では建物跡と中国産の高級磁器が出土した。



3 武田八幡宮
 武田信義が崇敬して以来、武田氏からあがめられてきた神社。武田信玄が造らせた天文十（一五四一）年に造った本殿や、息子勝頼の妻である北条夫人が武田氏の戦勝を祈願した願文などがこの神社には納められていて、武田氏にとって非常に関わりの深い神社である。そのため、本殿など多くのものが、重要文化財や県指定文化財に指定されている。



ゴール

1 願成寺
 白山神社の裏手にある城跡。武田信義が戦いになった時に立てこもったとされ、後に武川衆の青木氏が管理した。周囲の土塁や曲輪や堀がよく残り、武田氏の築城技術を示す城のひとつとして国の史跡に指定されている。



4 為朝神社
 武田信義により源為朝（鎌倉幕府を開いた源頼朝の父義朝の弟）を、まつた伝承をもつ神社。



とくしませぎ
 徳島堰は江戸時代に造られた用水路です。この堰のによって、葦崎の水田や南アルプスの果樹園などが造れるようになりました！

やまとたける たけだのおう
 日本武尊の皇子の武田王の墓と伝わり、毎年春には壮大な桜が見事です！

獣害よけの防
 止柵を開けて
 中に入る